

平成 28 年 3 月 31 日

教育開発推進機構長殿

学部長 宮内 靖彦

平成 27 年度 学部 FD 推進事業報告書

標記のことに、以下のとおり報告いたします。

学 部 名	法学部
事 業 名	法学部教育における本格的 PDCA サイクルの成果検証およびアクティブラーニング導入に関する研究
平成 27 年度実務担当者名	川合敏樹
事 業 の 概 要	
【計画性】当初計画通りに事業を推進できたか？ （いずれかにチェック）	
<input type="checkbox"/> 計画通りであった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね計画通りであった <input type="checkbox"/> あまり計画通りではなかった <input type="checkbox"/> 計画通りではなかった	
<p>（以下、<u>本年度の推進事業の概要</u>について、年初「申請書」の「内容」「目的」「計画」、及び前記【計画性】の自己評価、さらに別添の「経費執行表」における予算の執行結果に照らして記入してください。）</p> <p>本年度の FD 活動では、（１）PDCA サイクルを実施する過程で、これまでの FD では解決困難な課題について、カリキュラム改定による抜本的な解決を目指した検討を行った。また、（２）アクティブラーニングの導入については、学部内のプロジェクトチームによる検討を行い、有効な教育手法について検証を実施した。その成果は別紙の FD 委員会報告書にまとめられているので、参照されたい。</p> <p>今回の報告書では、必要とされるカリキュラム改定がかなり具体化されると共に、特にアクティブラーニングを活用した入門科目を 1 年前期に設置することが決まった。今後は、この新カリキュラムの下で新しい教育目標とカリキュラムマップを設定し、さらに PDCA サイクルを回していくことが課題になると考える。</p> <p>（３）のシンポジウムについては、法学部の中川先生と経済学部の根岸先生による主として高校教員・大学教員向けのシンポジウムを実施し、両学部における新しいアクティブラーニング型講義について紹介することができた（その詳細については http://pr.kokugakuin.ac.jp/2015/05/22/ を参照）。また、（４）学生アンケートの実施については、人件費を用いてアンケートの集計まで実施できたが、分析については来年度の課題となる。</p> <p>問題点としては、予算執行につき、報告書の完成が年度末までずれこんだことで印刷経費を費消できなかったこと、シンポジウム開催の際に謝金支払いが必要なくなったことで謝金経費を費消できなかったことが挙げられる。今後はより計画的で確実な予算執行が実現できるようにしたい。</p>	